

データマイニング技術：MBR

2008年3月更新

概要

データマイニングとは、大量に蓄積されたデータに埋没してしまっており、人間では気づかない価値ある情報を掘り起こし、ビジネス戦略などに役立たせるための技術です。

富士通研究所では、データマイニング手法: MBR (Memory-Based Reasoning) 技術を中心に、予測時の精度向上と、実業務への適用のための機能拡張の研究開発を進めています。また、当社事業部門と共同で、お客様にご協力いただき、研究開発した分析技術のお客様データへの適用を通じた分析技術強化とともにソリューション提供に向けた活動を行っています。

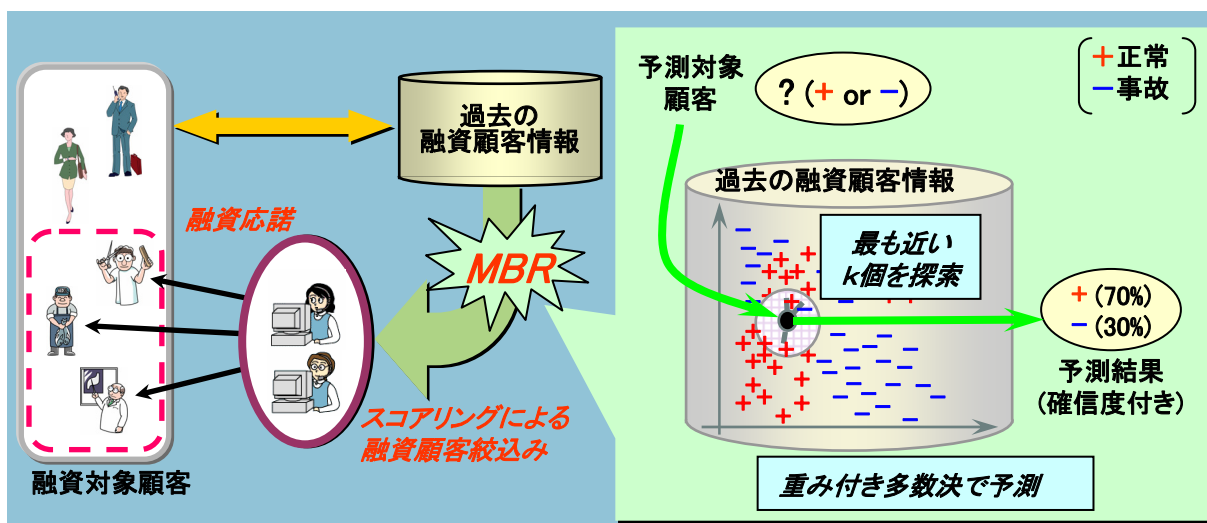
技術のポイント

蓄積された過去の事例から探索した類似データを用いて、高い精度で予測を行うMBR技術を中核に、以下のような技術を実現しました。

- ・ 過去事例の分布を考慮して予測する独自の計算手法(影響度新方式)により高精度化を実現。
- ・ 確信度付き予測で予測効果の定量的評価を可能に。
- ・ 予測結果に事例分布から求めた信頼性の尺度を付加させることで、予測自体の信頼性の判断を可能に。
- ・ 影響度により予測への影響要因の把握を可能に。
- ・ 事例分布までを考慮して、精度向上に最適な類似事例数を自動決定することで、実業務の負担を軽減。
- ・ 多属性で、時間ずれや抜けがある時系列データをも対象に、高精度な予測を可能に。

適用例

- ・ 当社ソリューション製品「ローン審査支援システム」に搭載され、お客様の現場で稼働。
- ・ 当社製品「Interstage Navigator Explorer Server」に搭載され、CRMなどの情報活用システムで利用。
- ・ 製造業のお客様のシステムで、多数属性から性能支配要因を選択する機構として利用。
- ・ その他、製造業での実験やシミュレーション結果から性能や品質を診断するなど、さまざまな予測場面で活用可能。



ローン審査支援システムへの適用例